

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・単独の施設の為もあり、介護レベルの向上がなかなか図れていない。	・現在の介護レベルを高めることにより自己のモチベーションも高まり、結果入居者の快適な生活の場の提供が図れる。	・「基本介技術の評価」(全国一律の様式)を用い、自己評価～上司評価を行い個々の目標値を設定し取り組む。	・6か月
2	34	・特に夜間帯における急変者の対応について、一人対応・単独という状況の下でいかに慌てず的確に対応できるか・	・一人一人が慌てずに的確に対応できる。	・目標を達成するために必要なものを夜勤担当者一人一人から聞き取り整備していく。(急変時対応マニュアルの整備等)	・6か月
3	36	・「家庭的な・・・」の意味の取り違えからか、「馴れ馴れしい」「尊厳」の認識が薄い。	・プロ意識を高める。	・接遇マニュアルを利用する。	・6か月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。